



小さな路地が交差する集落は迷路のようで、手入れされた畑やきれいに咲いた季節の花々に、人々の丁寧な暮らしが垣間見える。

歩くごとに発見がある雪浦ウィークだが、最も印象に残ったのは、地元の小学生たちによる「街かどライブ」。子どもたちの歌やリコーダー、ケーナの音色が雪浦の風景の中に溶け込む時間は、なんともいえない心温まるひととき。雪浦に暮らす人々が、また雪浦を訪れる人たちが、このまちを愛する理由が理屈抜きに伝わってくる。

二〇二五年、雪浦ウィークは二十六回目を迎える。手作りのイベントは、このまちを味わい尽くすのにぴったり。ぜひ今度の春は、風光る雪浦へ。

この期間、水色の幟^{のぼり}がはためく集落を歩けば、あちらこちらで「寄っていかんね」と声を掛けられる。美味しいもの、手作りの雑貨、珍しい体験もの……。それらに加えて、地元の人たちとのたわいもない会話が何より楽しい。また

このまちを
愛する人たちが
歩き、出会い、
温もりに包まれる。

静かな雪浦のまちが年に一度、多くの人であふれかえる数日間がある。それがゴールデンウィークに開催される、まち歩きイベント「雪浦ウィーク」だ。

手描きのマップにはイベントの趣旨が次のように記されている。

「雪浦をこよなく愛し、ここに暮らし、またここで活動する人々によって行われます。海山川に恵まれた自然豊かな雪浦を多くの人に紹介し、生産、創作、趣味の場を開放することによって訪れる側、迎える側、双方が共に楽しめる、顔の見える交流をする催しです」。

雪浦ウィーク

雪浦
西海市
YUKINOURA